

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」



主はわが旗

出エジプト記 17:8-16

8 さて、アマレクが来て、レフィディムでイスラエルと戦った。…11 モーセが手を高く上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を下ろすとアマレクが優勢になった。12 モーセの手が重くなると、彼らは石を取り、それをモーセの足もとに置いた。モーセはその上に腰掛け、アロンとフルは、一人はこちらから、一人はあちらから、モーセの手を支えた。それで彼の両手は日が沈むまで、しつかり上げられていた。…15 モーセは祭壇を築き、それをアドナイ・ニシと呼び、16 そして言った。「【主】の御座のある手。【主】は代々にわたりアマレクと戦われる。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 鈴木真由美(祈祷)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 平澤寿子(祈祷)

水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) 高木はつ江(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝 AM 11:00

夕方賛美礼拝 PM 2:30

教会学校（小学生まで） AM 9:50～10:30

水曜礼拝 PM 7:00

祈祷会・火・木曜日 PM 8:30～9:30

土曜日 PM 8:00～9:00

週報 2025-34号

2025.8.24

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

教会の働き

- 8/25-27 在日韓国基督教連合会 東日本修養会
会場:国民宿舎 サンライズ九十九里
柳師と智愛師が参加しますので、お祈り下さい。
- 9月14日(土)～15日(日)、教会の温泉旅行が予定されています。場所：河口湖ホテル美富士園
主の恵みの中で、神の家族として豊かな交わりを持つ大切な機会です。どうぞ祈りをもって準備し、心を合わせて参加できるようにいたしましょう。
- 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法(3-Minute Bridge)」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる様に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんとの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

主日礼拝

	AM 11:00~
信仰告白	賛美リード (使徒信条)
代表祈禱	北原明子
特別賛美	インマヌエル聖歌隊
お知らせ	
聖書個所	出エジプト記 17:8-16 (主はわが旗。)
メッセージ	柳承吉牧師
賛 美	神の家族
祝 禱	柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

	PM 2:30~
代表祈禱	賛美リード 韓芽唯
聖書個所	ビリピ 1:3-5
メッセージ	柳 承吉牧師 (感謝する人生)
主の祈り	

水曜礼拝

	PM 7:00~
司 会	韓芽唯
代表祈禱	松島浩一
聖書個所	
メッセージ	柳澄香

今週の御言葉

主はわが旗 出エジプト記 17:8-16

ハレルヤ。

私たちは出エジプト記を通して「天国への旅路」を学んでいます。イスラエルの民が罪に満ちたゴシェンを出て、乳と蜜の流れるカナンを目指した旅は、決して平坦ではありませんでした。

紅海の絶体絶命の危機では道を開いてくださる神を体験し、マラの泉では苦い水を甘く変えられる神を体験しました。さらに、荒野でのマナを通して「必要を満たしてくださる神」を知りました。

信仰の旅は、神がどのようなお方であるかを知る道であり、それが「信仰の成長」です。

本日の箇所は、レフィディムにおけるアマレクとの戦いの出来事です。

1. 勝敗は祈りにかかる

11 節にはこうあります。「モーセが手を高く上げているときはイスラエルが勝ち、手を下ろすとアマレクが勝った。」

モーセが手を挙げる姿は祈りの象徴です。祈りがあるときに勝利し、祈りが止むときに敗北しました。

詩篇 33:16-19 は「王は軍勢の多さによらず、勇士も力によらず、主を恐れる者を主が顧みられる」と語ります。祈りこそが、信仰者の真の力です。

2. 共に祈る同僚者が必要である

12 節 「モーセの手が重くなると…アロンとフルは一人は一方から、一人は他方から、モーセの手を支えた。」

祈り続けることは容易ではありません。疲れる時があります。その時、必要なのは祈りの仲間です。

パウロも「兄弟たち、私たちのためにも祈ってください」(I テサロニケ 5:25)と求めました。

教会は互いに祈り合う共同体です。共に祈る時、最後まで祈り抜く力を得るのです。

3. 私たちの手にある「神の杖」=祈り

9 節「私は明日、神の杖を手に持って、丘の頂に立ちます。」モーセの杖は、十の災いをもたらし、紅海を分けた神の力の象徴でした。

私たちに与えられた「杖」は祈りです。祈りは神の倉庫を開く鍵であり、神の祝福を現実にする手段です。

祈る父母を見た子どもは祈る人に育ちます。祈る教会は必ず神の力を経験します。

戦いの後、モーセは祭壇を築き、名を「アドナイ・ニシ(主はわが旗)」と呼びました。

主こそ、常に勝利を与えてくださるお方です。

祈る人は必ず勝利します。祈りをもって神を仰ぐとき、主が戦ってくださいます。

「アドナイ・ニシ」、勝利の神に信頼し、祈りによって勝利する信仰生活を歩んでまいりましょう。

主の御名によって祝福します。